

緑の相談所だより No.106

発行日 平成19年6月1日
編集・発行 財団法人旭川市公園緑地協会 緑の相談所

講習会のご案内

『サツキの育て方』～花後の剪定～

とき 平成19年6月3日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 旭川サツキ会 土井 吉夫 さん
定員 50名

『コンテナ園芸を楽しもう』

とき 平成19年6月17日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 緑の相談所 相談員 伊藤 征夫
会場 永山中央公園管理棟 教材費 700円
定員 20名

～神楽岡公園自然観察会～ 『初夏の草花』

とき 平成19年6月24日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 旭川帰化植物研究会 塩田 惇 さん
定員 50名

『バラづくり実践①』～剪定と育て方～

とき 平成19年7月1日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 旭川ばら会 後路 和美 さん
定員 50名

展示会のご案内

『サツキ展』

とき 平成19年6月1日(金)～3日(日)
AM 10:00 ~ : PM 4:00

作品提供 旭川サツキ会の皆さん

『山野草展』

とき 平成19年6月8日(金)～10日(日)
AM 10:00 ~ : PM 4:00

作品提供 北海道山草趣味の会の皆さん

『春のバラ展』

とき 平成19年6月29日(金)～7月1日(日)
AM 10:00 ~ : PM 4:00

作品提供 旭川ばら会の皆さん

『植物の病害虫診断』

とき 平成19年7月8日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 拓殖大学北海道短期大学講師 青田 盾彦 さん
定員 50名

『花・庭木の土づくりと手入れ』

とき 平成19年7月15日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 フラワーマスター 佐藤 文男 さん
会場 永山中央公園管理棟 定員 20名

『寄せ植えハンギングをつくろう』

とき 平成19年7月29日(日) PM 1:30 ~ 3:30
講師 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光
定員 20名 教材費 700円

イベントのご案内

「花フェスタ2007」

とき 平成19年6月13日(水)～17日(日)
会場 大雪アリーナ
会場内に特設の相談コーナーを設置しております。

「緑のセンターまつり2007」

とき 平成19年8月5日(日)
会場 緑のセンター区内
詳しい日程・内容は後日ご案内致します。
どうぞお楽しみに!!

定員になり次第募集は、締め切らせていただきます。
お申込みはお早めをお願いいたします。
場所は6月17日、7月15日のみ永山中央公園管理棟(永山6条18丁目)になります。
それ以外の講習会は全て旭川市緑の相談所(旭川市神楽岡公園内)緑の学習室です。
お申込み・お問合せ・ご相談は、
旭川市緑の相談所 (0166)65-5553 まで。

ペチュニア ~ 育て方のコツ ~

ペチュニアは育てやすい花ですが、少し管理に気をつけるだけで、さらに長く花が楽しめます

まず、よい苗を

- ・ 全体に均整がとれていること。
- ・ 徒長苗でないか（すこしズングリ苗がよい）
- ・ 下葉が黄変していないか。（上葉の黄変は問題外）
- ・ 葉が丸まったり、病虫害の被害はないか。
- ・ 1 番花を咲かせないで、2~3 回側枝のピンチを繰り返す。

水やり

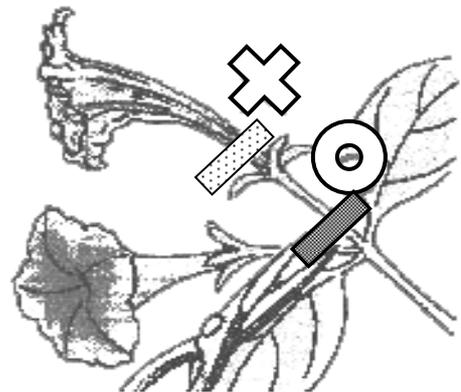
- ・ 基本は乾いてから、たっぷり。
- ・ 夏は朝早く、春と秋は午前中に。
- ・ 水は株元に（花にかかると花が終わる）
- ・ 萎れてからやるくらいがコツ。

花がら摘みと病虫害対策、そして施肥

- ・ 咲き終わった花にカビが生え、病気が発生。（花がらは早く取る）
- ・ タネに養分が取られないように。
- ・ ガクや花茎を残さない。
- ・ オンシツコナジラミを見つけたら殺虫剤を。
- ・ 10 日おきに 1,000 倍の液肥をかん水時にかける。



花がら摘み



〔次回は切り戻しと夏の管理〕

展示室の植物たち

サラセニア

サラセニア科サラセニア（ヘイシソウ）属

葉が変化して袋状(瓶子葉ヘイシヨウ)になり、昆虫が落ち込むと内部で消化吸収する食虫植物

北アメリカに分布し野生種はわずか 8 種ですが、人工交配などで多くの種が出来ています。瓶型の葉が特徴で別名は「ヘイシソウ」。当温室には市場に出回っている代表的な 3 種があります。瓶子葉が大きく先端が赤紫色や黄緑色のほか、瓶子葉が太く短く株元に放射状に広がる品種など来場者の皆さんに珍しがられています。常時、腰水状態にしてよく日の当たる場所に置くと生育旺盛です。水に浸かっているため、鉢物特有の水のやりすぎの心配がありません。また、食虫植物だからと言って虫を与える必要もありません。栽培が容易な植物ですからぜひ挑戦してみてください。

日本一大きな葉っぱの木

ホオノキ モクレン科

ホオノキの花

ホオノキは高さ30mにもなる落葉樹で、下枝が少なく痛直に伸び、樹皮は灰白色、裂け目はありませんが、円形の皮目があります。葉が大きくなりきる頃、とても良い香りの白くて大きな杯型の花を咲かせます。

また、春で一番初めに山々に白い花を咲かせるキタコブシも同じモクレン科でホウノキの仲間です。

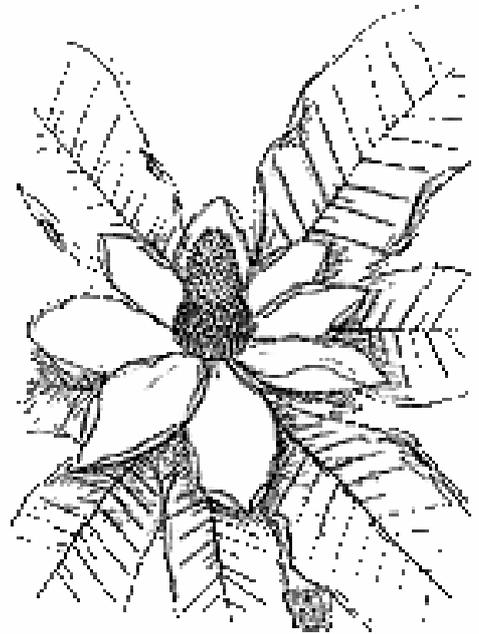
葉の大きさは50cmにもなり、葉の表面は深緑色で裏面は粉状白色をしています。

夏が近づく頃白い花が実を結び、小さいパイナップルのような赤い実をつけます。

ホオノキは葉や花、また実も形や色が艶やかです。

ホオノキの樹皮は古くから、健胃、下痢止め、除虫剤として利用されています。実は腹痛止めに用いられてきました。

材は緻密で柔らかく、工作が容易なことから、家具材、建具材、彫刻材、漆器の素材、下駄等、何にでも幅広く利用されています。



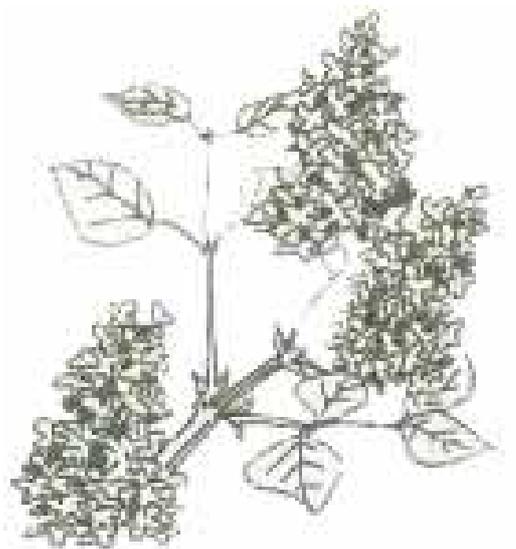
北国の山に初夏を告げる木

ハシドイ モクセイ科

別名、ドスナラと呼ばれています。ドスナラの名は北海道の木材、林業関係者が良く用いる名前です。古くから使われてきました。谷間や沢沿いの明るい林内や林縁に生育し、耐陰性に富んでいて、高さ10m、直径30cm位になります。

ハシドイはムラサキハシドイ(ライラック)の紫の花が終わる6月下旬~7月上旬にかけて咲き始めます。花のつき方も香りもムラサキハシドイ(ライラック)に似ていますが、花の色は白色です。花の大きいのがムラサキハシドイ(ライラック)、小さいのがハシドイです。

耐寒性があるので、寒冷地の街路樹や庭木に用いられています。材は光沢があり、小細工物として利用されています。



6月の園芸作業

1 草花・鉢花類

チューリップは葉が黄ばみ始めたら葉茎をつけたまま掘上げ、涼しい場所で乾燥、貯蔵しましょう。また、スイセン、ムスカリ等花が終わったものは花首や花茎を切り出来るだけ葉を残し球根の肥大を図りましょう。宿根草の株分け、移植、植替えの時期です。ジャーマンアイリスは花後に株分けしましょう。

花が終わったブーゲンビレアは剪定・整枝・植替えをし、水やりは乾かしぎみにしましょう。ポインセチアは中旬までには剪定し、植替えをします。

2 庭木・果樹類

シャクナゲは花後、子房(種子)の下から摘み取り、ライラックは花房を切り取りましょう。

ムクゲは今年伸びた新梢に花が付きます。芽が吹き出る前に、込み合っている枝や細く弱い枝、大きくなりすぎた枝を剪定しましょう。

ツツジ類、ライラックは花後、すぐ剪定しましょう。イチイ、ヒバ、ツゲ等は適時剪定しましょう。

イチイ、マツ類、エゾマツ、トウヒ等は移植の時期です。枝が多く伸びているものは枝すかしや芽摘み等をして移植しましょう。

バラ、ポタン、シャクナゲ等は根の乾燥を嫌うので腐葉土やピートモス等を根際に敷きましょう。

ブドウは芽かき(1㎡当たり7~8芽程度残す)をし、新梢は良く日の当たるよう誘引しましょう。リンゴ、ナシはなるべく早く1ヶ所から出た複数果実を摘果し、形が良くて大きい果実を一つ残しましょう。スモモ、ブルーンは果実がぶつからない程度に摘果しましょう。

シンクイガの防除のため、リンゴ、ナシ等は袋かけ(6月下旬~7月上旬)をし、プラムやブルーンは定期的に殺虫剤を散布しましょう。

7月の園芸作業

1 草花・球根・鉢花類

ハボタンは秋花壇にパンジー、デージーは来年の春花壇用のため、中旬頃に種をまき苗づくりしましょう。

掘上げた球根は網袋に入れ日光の当たらないところで秋まで貯蔵しチューリップは青カビの発生に注意しましょう。掘上げない場合は藁やピートモス等で株元をマルチングし直射日光を当てないようにしましょう。

アデニウムの枝が大きく伸び過ぎた場合は剪定する良い時期です。切り戻した枝は挿し木に適する大きさ10cm程度に調整し、火山礫等の用土に穴を空け3分の1程度挿しましょう。

シクラメンは戸外の半日陰に置き、水やりや施肥を続け葉の成長を促しましょう。

花芽形成期になるアザレア、ツツジ類、シャコバサボテンは今月で窒素肥料は打切りましょう。クジャクサボテンは直射日光に十分当て茎を太らせましょう。

ポインセチアは生育が盛んな時期ですので肥料と水は切らさないように管理しましょう。

2 庭木・果樹類

イチイ等の玉物や生け垣は刈り込みが終わった後に徒長枝は剪定しましょう。

シャクナゲ等は花が終わったら直ぐに花茎から摘み取り、化成肥料を与えましょう。

松柏類の芽摘みと、春から伸びて成長が止まった枝を切り詰めて挿し木(縁挿し)しましょう。

ライラック、レンギョウ、フジ、ツツジ等は翌年花となる芽が茎頂や葉えきにてできる時期なので、リン、カリを多く含む肥料を与えましょう。

7月下旬、プラム、ブルーン等にシンクイガが2回目の産卵を始めますので、殺虫剤をかけましょう。また、実が腐ってくる灰星病等も発生するので殺菌剤をかけ予防しましょう。

ブドウの1枝に巨峰は1房、ナイヤガラ、キャンベルアーリーは2房、デラウェアは3房残し、他は摘み取りましょう。葉全体に日が当たるように枝を誘引し、副梢は1~2枚残して摘み取りましょう。

リンゴ、ナシ、サクランボ等は枝の背面から直立した枝(徒長枝)が勢い良く出て、日当たりを悪くしますので切り取りましょう。(夏剪定)